



## 第2学期 感謝する子 (美しいものを発見する生活)

### 第4期(11月~12月) 期題「感謝を喜び子どもたち」

\*たくさんの人たちからのお世話や自然の恵みによって守られていることを知り、心から感謝することの大切さとすばらしさを身に付ける

**絵のコーナー**；色々な行事を体験したことで、感じたことや楽しかったことを絵に描いたり、季節を感じながらゆっくり丁寧に描く姿が見られています。すみれ組たんぼ組はもう少しでクリスマスということもあり、クリスマスツリーや雪だるま、成道会でみた「おもいをどうぞ」の絵を自分のイメージでのびのび描いています。またそんな素敵な作品を飾ることで、さくら組も真似をしながら楽しく描く姿が見られています。季節を感じ、取り入れていかれるようにと園庭の落ち葉を使ったこすり絵や落ち葉を顔に見立て目や口を描いたり、みんなで大きな紙にツリーを描き絵の具で色を塗ったり、リースを自分の好きな色に塗り飾り付けをしたりしました。子どもたちの目の前で赤と白の絵の具を混ぜると「ピンクになった！」と目を輝かせてみていました「この色と混ぜたら何色になるのかな？」と自分たちで色作りも経験しました。毎日正しい鉛筆の持ち方と姿勢を個々に伝えていますが癖になってしまう子もいますが来期も引き続き、自分で意識していけるように伝えていきますが、この冬休み、ご家庭でも鉛筆の持ち方や正しい姿勢で一緒にお絵描きを楽しんでみてください。

**ごっこのコーナー**；バザーをきっかけに、太陽のお部屋では「お店屋さん」がスタートしました。子どもたちの創作意欲はとて強く、造形コーナーで思い思いの品物を作っては、嬉しそうにお店屋さん並べています。プリンやマシュマロ、カレーライス、ラーメンなどの食べ物に加え、指輪やリボン、魔法の杖、ぬりえなど、自分で作ったものを売りたい！という気持ちが込められているのを感じられます。「お店屋さんには他にどんなものが必要な？」と問いかけると、看板や植札、レジ、お金というように子どもたちは自分で考えながら準備して、売り買いを楽しんでいる様子があります。また、カードゲームも盛り上がりました。カルタでは、すみれさんだけでなく、たんぼぼさんも率先して読み手を務めたり、たくさん取れず悔しくて涙するほど熱中していたりと、とても意欲的な姿があります。トランプでは、すみれさんが中心になって年下の子にやり方を伝える姿があります。これからも助言しすぎることなく時にヒントを伝えつつ様子を見守りながら、子どもたちの持っている力を引き出して自信に繋げていきたいと思ひます。



**表現のコーナー**；11月、園庭では慣れ親しんだダンス曲に合わせ、ボンボンや楽器を持ちリズム遊びを楽しんでいると小さい子どもも自然と加わり一緒に楽しんでいました。またすみれ組さんが出場した「未来を奏でるコンサート」での曲目をCDに合わせ異年齢でうたっている姿がありました。そして12月に入り鈴やかスタネットを持って「あっという間にクリスマス！」のダンスを楽しんでいます。

11月の太陽の部屋の舞台では「大型積み木」を使って友だちと一緒に船や車・家を作ってはごっこあそびを楽しんでいました。その後「成道会」で先生たちの「おもいをどうぞ」の劇を見て、早速子ども達による劇遊びが始まりました。なりたい役や係(幕・電気のスウィッチ・楽器・ナレーター)になり、準備が整うと「劇がはじまりますよ〜みにきてください」とプラカードを持って誘いに行く係もあります。「おいしいそうなお芋だね。大学芋にしたいよ！」「おもいクッキーがいい」など子どもたちなりにイメージしたセリフを言いながら今演じる子達は楽しんでますし、見ているお客様の子も達も一緒にうたを歌ってくれたり盛上がっています。「様々な役があり、一つの劇が出来上がっている」こと「みてもらう喜びを感じる」こと等、引き続き、子どもたち同士が刺激し合っ「表現する楽しさ」を多くの子どもたちが経験できるようにしていきたいと思ひます。

**クッキングコーナー**；おもい掘りで掘ったサツマイモはスープに入れたり、スイートポテトにすると、「あまくておいし〜い♪」と大好評！お店屋さんが開店すると、大行列ができていました。感謝の会で持ってきて頂いた野菜や果物を使ってのクッキングでは子どもたちに食べたいメニューを考えてもらい、すみれ組さんを中心に行いました。家庭から持ってきたエプロンや三角巾をつけてのクッキングに、いつも以上に意欲的になっている姿がみられ、自分たちが作ったものをみんなに食べてもらい、「おいしかったよ」「ありがとう」の言葉を掛けてもらうと、とっても嬉しそう笑顔が見られました。そんなすみれ組さんの姿をみて、さくら組さんやたんぼぼ組さんもやってみよう！と挑戦。自分のエプロンと三角巾をつけると、少し照れながらも…楽しくクッキングをしていました♪この経験を通して、改めて自然の恵みに感謝することや振る舞うことの喜びや楽しさを感じていられるように取り組んでいきたいです。日に日に寒くなっていますので、あたたかいメニューを子どもたちと考えながら、ほっとゆっくりできる空間を作っていきたいと思ひます。

**クロークコーナー**；そろそろクローク…さくら組は、今まで難しかった裏返しやホックなどが出来るようになってきて、自分で着替える意欲が育ってきています。たんぼぼ組は、ていねいにたたむことが少しずつ身に付いてきています。すみれ組は、その日の遊びに期待を持って着替えを素早く済ませています。3学期は襟を出したり、裾を整えるなど、身支度も自分で意識出来るように声を掛けていきたいと思ひます。

**ほしクローク**…時間を気にしながら短い時間で着替えられるようになってきたり、パジャマ袋や上着をきれいにたたんでロッカーにしまうよう心がけ、ロッカーの中の整理整頓が自分たちで出来るようになってきています。

〜3学期も出来た事をほめながら、落ち着いて一つ一つ丁寧に着替えていられるように見守っていききたいと思ひます。寒くなると厚着になる子もいますが、風邪をひかない健康な身体作りの為にも、引き続き薄着を心掛けていければいいですね。また、園生活を気持ちよくスタートさせ、たくさん遊べるように早めの登園のご協力をお願いします。〜



**造形のコーナー**；ハロウィンの飾り作りをきっかけに始まったスタンプあそび。廃材に始まり、お芋や、様々な野菜も仲間入りし、今は園庭の落ち葉を使っての落ち葉スタンプングを楽しんでいます。始めはただ押すことを楽しんでた子も、形を組み合わせて新しい形を作り出すことを楽しむようになっていきました。落ち葉では、インクの付いた葉っぱをバレンで丁寧に擦っていきます。綺麗に形を写し出すために一枚一枚慎重に…綺麗に葉っぱの形が出るととても嬉しそう子どもたちです。そんな葉っぱのスタンプングでは、募金箱の飾りつけも楽しんでます。空き箱製作では、楽器作りや、衣装作りなどを経験してきたことで、よりイメージを具体的に細かく表現できるようになりました。12月に入り年長児がきっかけとなって始まったお家作りは「みんなのおうち」となり、様々な子どもたちの手で広がってきています。友だちの作った物からイメージを膨らませてアイデアを出し合い、楽しんでます。友だちと一緒に作っていくことの楽しさを感じ、細かなところまで意識して作っていくことなどが育ってきています。ひとつひとつを丁寧に考えながら作りあげる楽しさを更に味わっていききたいと思ひます。



**外あそびコーナー**；11月に入ると、栗の木山の周りの木々が紅葉し、秋を感じながらルールのある遊びとして「陣取りゲーム」が始まりました。2つのチームに分かれ、それぞれのスタート地点から、栗の木山の上やトンネルの中に引いてある白線の上を走り、相手チームの友だちと合うとジャンケンをし、勝った人はそのまま進み、負けた子は戻り、次の子にバトンを渡します。それを繰り返して、相手のスタート地点まで行ったら勝ちというゲームです。始まった当初はただ走ることやジャンケンを楽しんでいただけでしたが、今では、毎日やりに来る年長児が中心になりながら、自分たちでチーム決め、審判などもやり、年中少児には優しくルールを教えるなど、「陣取りゲーム」を通して体力面だけでなく、社会性や思いやりの心など、多くのことを学んでいます。また、「できたよー」と年長児の中で今盛り上がっています。友だち同士で教え合ったり、朝園庭に来るなり「できたよー」とを広げて「きょうはどれやろうかな」と毎日取り組んでいる子など、どの子もNo.2に向かって挑戦しています。その姿をみて年中少児も「やってみよう」と真似て鉄棒や縄跳びなどを一緒に楽しんでいる姿がみられています。



**自然のコーナー**；秋から冬に移り変わる中、子どもたちは沢山のこどものもりの自然を楽しみました。イチョウや栗、こならなどのきれいな葉っぱ束ねて、葉っぱの花束作り、数珠玉を使っての指輪やブレスレット作り、グルーガンを使って、木の実のオブジェ作り、そして、今は松ぼっくりのツリーやリース作りを楽しんでいます。どの子も、センス良く、自分なりのイメージを持って、夢中になっています。こどものもりの子どもたちにとって自然は、ステキな物作りができる材料がいっぱいの宝箱みたいなものです。木の実や枝、きれいな葉っぱ、拾っては、「先生みつけたよ〜！」と持って来てくれます。どの子も感性が豊かになってきています。また、畑では、先月蒔いた、冬野菜が美味しそうにできてきています。無農薬なので、あおむしがあちらこちらにいます。水やり当番さんは、水あげのほかに毎日「はらぺこあおむし探し」をして、野菜の生長のお世話をしています。引き続き自然の恵みに感謝しながら、季節感いっぱいこどものもりを楽しんでいきたいと思ひます。

